

令和2年度(2020年度)事業計画書

令和2年(2020年)1月1日～令和2年12月31日

令和2年度事業計画について、定款に基づき下記の事業を行う。

1. 第30回日米草の根交流サミット2020・フィラデルフィア大会の開催

開催地: ペンシルベニア州内各地

共催団体: フィラデルフィア日米協会(JASGP)、CIE-US

開催時期: 2020年10月6日(火)から10月13日(火)

内容: 第30回日米草の根交流サミット大会を、フィラデルフィアを中心にペンシルベニア州南東部において開催する。主催は、CIE、CIE-US、フィラデルフィア日米協会。

【 フィラデルフィア大会の概要と準備 】

ペンシルベニア州知事トム・ウルフ氏、フィラデルフィア市長ジェイムズ・ケニー、在ニューヨーク日本国総領事の山野内勘二氏らの協力を得ながら開催準備を進める。

来年2020年は、日米草の根交流サミット開催の30回目となり、咸臨丸就航及び日米修好通商条約批准書交換から160周年を迎える。併せて東京オリンピックも開催されることから、共催団体のフィラデルフィア日米協会は2020年を「Japan-Philly 2020」とし、市内の美術館・博物館での日米関係の特別展示、オリンピックのパブリックビューイングなどを催し、日米草の根交流サミットフィラデルフィア大会開催をそのグランドフィナーレと位置づけして準備を行う。

オープニング式典は、政治家、物理学者、発明家であり、100ドル紙幣の顔としても有名なベンジャミン・フランクリンの、科学者として偉業を紹介するフランクリン科学博物館で開催。国立記念碑に指定された大理石のフランクリン像が座る豪華なホールでの式典を予定している。

フィラデルフィア到着2日目(10/7)のローカル・ツアーは、以下の6コースを提供する。

日本からの参加者には、ジョン万次郎からアメリカでの体験を聞いた土佐藩の画家河田小龍が、文字と絵で書き起こした「漂異紀畧」の貴重な完全古写本が保存されているローゼンバック美術館見学をはじ

め、独特の文化を保つアーミッシュの町訪問等、フィラデルフィアなら
では芸術、歴史、文化を学んでいただく。

- A:インディペンデンス・リバティー・ウォーキング・ツアー
＋ローゼンバック美術館
- B:美術館（フィラデルフィア美術館またはバーンズコレクション）
＋ローゼンバック美術館
- C:アーミッシュカントリー・ツアー
- D:ニューホープ・ツアー
- E:ペンシルベニア大学キャンパス&考古学人類学博物館
＋ローゼンバック美術館
- F:ローゼンバック美術館 &フリー

ローカル・ツアー後、参加者には「フランクリン科学博物館」に集まって
いただき、オープニング式典を開催する。

大会日目(10/8)からは、以下の10市でそれぞれの地域分科会プロ
グラムを3泊4日の日程で開催する。

- － ソサエティ・ヒル
- － オールド・シティ
- － フェアマウント
- － ユニバーシティ・シティ
- － 南フィラデルフィア
- － グレンサイド
- － チェスナット・ヒル
- － ウェスト・チェスター
- － ランカスター
- － リーハイ・バレー

また、福島県の葛尾中学校及び川内中学校は既に参加を表明してい
るため、フィラデルフィア市内の中学校との交流を準備している。また
福島県内の中学生及び兵庫県からの高校生の参加を促しており、助
成金申請によって参加可能の際には受入校としてフィラデルフィア近
郊の2校(高校および中学校)が準備を進めている。

大会6日目(10/11)のクロージング式典とそれに続くフェアウェル・パ

ーティーは、デラウェア川に面するインデペンデンス・シーポート博物館で開催予定。海事博物館として設立された同館では、フィラデルフィアはアメリカ海軍発祥の地であり、ペリー提督が率いる艦隊が出航した地であることも紹介している。

また、式典前には、万次郎とホイットフィールド船長の友好の絆、日本とフィラデルフィアの交流の歴史を紹介するイベント「万次郎ワークショップ」の開催を、フィラデルフィア日米協会およびシーポート博物館が準備している。

【 ポスト・サミット・オプション・プログラム 】

フィラデルフィアでの大会終了後は、次の4つのポスト・サミット・オプション・プログラムを提供する。

1. 万次郎の足跡残るフェアヘイブンホームステイ（2泊）と古都ボストン（1泊） 協力：万次郎・ホイットフィールド・フレンドシップ協会及びボストン日本協会
2. ワシントン DC 半日ツアーとヴァージニアホームステイ（2泊） 協力：Taeko Floyd 氏
3. ミシシッピー川の源流ミネソタ州でホームステイ（2泊） 協力：ミネソタ日米協会
4. 大自然に囲まれたコロラド州コロラドスプリングスホームステイ(2泊) 協力：南コロラド日米協会

【 日本での参加者募集活動 】

フィラデルフィア大会への日本からの渡航参加者について、150人を目標として、募集活動を行う。

青少年の参加を促すために、以下のグループのための助成金申請を行う。

- 兵庫県立宝塚西高等学校 高校生徒 10 名と引率者

宝塚西高等学校には、2019 年の兵庫・姫路大会の際、ワシントン州マウント・バーノン高校(シアトル大会時、奈良県立畝傍高校の生徒 15 名と引率者 3 名を受け入れ)から 10 名の生徒を受け入れていただき、学校交流を行った。

- 兵庫県立大学附属中学校 中学生徒 10 名と引率者

県立大附属中学校には、兵庫・姫路大会の際、ベルビュー市タイイー中学校(シアトル大会時、福島県葛尾中学校及び川内中学校の生徒 24 名と引率者 7 名を受け入れ)から 10 名の生徒を受け入れていただき、上郡町立山野里小学校とともに学校交流を行った。

なお、H28 年の広域アトランタ大会、H30 年シアトル・ワシントン州大会に参加した福島県の葛尾中学校及び川内中学校が、すでに参加意欲を示していることから、しっかりとフォローアップしていく。

今後も万次郎とホイットフィールド船長の友好の原点、彼らの隣人愛、リーダーシップを若い世代に広めるよう、中学校・高校へのサミット大会参加を呼び掛けていく。

また、ペンシルベニア州には以下の多くの市が日本と姉妹都市提携をしていることから、訪問をするなどして積極的に参加者募集を試みる。なお、米国側の姉妹都市からは、できるだけ日本側の姉妹都市に向けて、参加勧誘のレターの送付を依頼する。

神戸市(友好都市)	★フィラデルフィア
高知県本山町	☆アッパー・ダービー
御殿場市	チェンバースバーグ
さいたま市	ピッツバーグ
愛知県新城市	ニューキャッスル
大阪府富田林市	★ベツレヘム
栃木県佐野市	★ランカスター
★地域分科会参加地域	

2. 第 31 回日米草の根交流サミット大会の開催準備

開催地: 和歌山県内各地

共催団体: 和歌山県

開催時期: 2021 年 6 月第 2 週または第 3 週予定

内容: 日本で開催する第 31 回大会は、開催地である和歌山県の実行委員会(令和2年 3 月頃結成予定)とともに受入れ準備を進める。

米国での参加者募集活動については、令和2年 3 月頃までにはチラシを制作し、プロモーションを開始。10 月のフィラデルフィア大会時にパンフレットを配送すべく準備を行う。

CIE-US のマーケティング委員会とともに、米国各地の日米協会の日本語クラス等もターゲットとする。また、米国内の大学や教育機関への参加も促す。

なお、直近のフィラデルフィア大会には、和歌山県からも、視察およびフィラデルフィアでのプロモーションのためにできるだけ多く参加してもらおう予定。

3. 第 32 回以降の日米草の根交流サミット大会の開催地発掘

2021年和歌山大会以降のサミット大会開催地の発掘を随時行っていく。アメリカでの大会には全米日米協会 (NAJAS) および各地の日米協会と、日本での開催については、都道府県の国際課や日米協会、また、万次郎および国際交流に興味のある団体と交渉を進める。

4. 情報の発信

(1) ニュースレター「草の根通信」

令和2年度中に4回発行する。財団ウェブサイトに掲載するとともに、必要部数を冊子として製本し、賛助会員、寄付者、次年度開催地の関係者、ボランティア等に配布。フィラデルフィア大会開催に関する広報機能も有したものとする。

(2) 活動報告書(アニュアルアクティビティレポート)の刊行

内 容: 第 30 回日米草の根交流サミット 2020 フィラデルフィア大会と、その他の令和 2(2020)年度中の活動報告。日英の両言語表記。

配布先: 財団及び大会関係者、第 29 回、第 30 回大会関係者
広報資料としても活用。

(3) 電子媒体

① ホームページの活用

紙媒体だけでは伝えきれない情報やホームページでしか見られない情報を配信することにより、ホームページ情報の重要度を紙媒体同様に高めるよう努める。できるだけ最新のサミット大会情報にアクセスしやすいものとし、参加者募集により直接的に役立つものとする。

② フェイスブックの利用

サミット大会中のこまめな写真アップロード等で日本人参加者およびその家族や友人のアクセス数増加を図り、アメリカへの関心を高める。また、情報のこまめな書き込みにより日本人の将来のサミット大会参加への意欲をつなぐ。

③ サミット大会オンライン申込の導入

アメリカ開催では一般的に導入されているが、日本人対象には未導入だったため、フィラデルフィア大会より試験的に導入する。今後、電子メール及びHPやFBでの情報配信の促進につなげる。

以上